

授業科目 総合演習

【担当教員名】 相馬 俊雄 他		対象学年	4	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 理学療法の知識および技能について修得の到達度を確認し、苦手分野・重点分野を自己認識し、集中講義や卒業研究ゼミ単位での取り組みにより学習習慣を定着させ、理学療法士として必要な知識を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人体の構造と機能および心身の発達について述べる。 2. 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進について述べる。 3. 保健医療福祉とリハビリテーションの理念について述べる。 4. 基礎理学療法学の知識と技能を説明し、応用する。 5. 理学療法評価学の知識と技能を説明し、応用する。 6. 理学療法治療学の知識と技能を説明し、応用する。 7. 地域理学療法学の知識と技能を説明し、応用する。 8. 臨床で理学療法士が収集する情報や遭遇する事態を想定し、それを理解する知識や対処方法について説明する。 9. 学生間で学びあい教えあうという共同作業に取り組む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人体の構造と機能および心身の発達			1	集中講義
2	"			1	"
3	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進			1,2	"
4	"			1,2	"
5	まとめ（第1回）			1～8	到達度確認テスト
6	保健医療福祉とリハビリテーション			3～9	演習
7	基礎理学療法学			3～9	演習
8	理学療法評価学			3～9	演習
9	地域理学療法学, 臨床実習			3～9	演習
10	まとめ（第2回）			1～8	到達度確認テスト
11	理学療法治療学			3～9	演習
12	まとめ（第3回）			1～8	到達度確認テスト
13	まとめ（第4回）			1～8	到達度確認テスト
14	まとめ（第5回）			1～8	到達度確認テスト
15	まとめ（第6回）			1～8	到達度確認テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		随時紹介する。			
その他の資料		プリント（演習の資料は各ゼミで編集）			
【評価方法】 出席、ゼミ活動への参加状況、定期試験。			【履修上の留意点】 各自で修得の到達度と苦手分野・重点分野を自覚し、一方でゼミ単位での取り組みを軸にしながら、もう一方で早期から自分の目標を立てて計画的に学習し、学力の向上を目指すこと。		